

日本学術会議 社会学委員会 社会福祉学分会
(第24期・第2回)
議事要旨

1. 日 時

2018年6月24日(日) 16時～18時30分

2. 場 所

立教大学12号館 第二会議室

3. 出席者

岩崎晋也 金子光一 稲月正 須田木綿子 竹本与志人 野口定久 大和三重
白澤政和 原田正樹 牧里每治 湯澤直美 和気純子 岩永理恵 (13名)

4. 配付資料

- ・ 第23期提言案の査読結果
- ・ 原田委員報告資料「福祉教育の展開」
- ・ 金子委員報告資料『小学校中学年・高学年用 福祉読本 ふだんのくらしをしあわせに』
(大阪市、編集：福祉教材に関する評価検討選定会議)

5. 議事

1) 第23期提言案の査読結果について

- ・ 査読内容について、岩崎委員長より報告し、対応について議論。
- ・ 査読に対する修正案は、岩崎委員長を中心とした執筆した委員で作成し、委員間で共有することを確認する。

2) 第23期提言案に関するシンポジウム

- ・ 日程は、1月頃とし、日本社会福祉系学会連合との共催にする。
- ・ 提言案を誰に伝えるか議論。
- ・ 登壇者の選定にあたり、シンポジウムの焦点をどこにあてるべきかを議論。

3) 福祉教育の展開

- ・ 原田委員報告「福祉教育の展開」
- ・ 金子委員報告『小学校中学年・高学年用 福祉読本 ふだんのくらしをしあわせに』について
- ・ 報告をもとに、小・中学生や高校生に伝えるべき内容について議論。

- ・ 一案として、困窮を抱える当事者とのかかわりが重要で、単なる体験学習ではない教育メソッドをつくる必要があるとの意見。
- ・ 次回以降取り上げるべき素材を検討し、次回は同和教育を取り上げることを予定する。

以上。